

第 82 回国民スポーツ大会・
第 27 回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会

第 5 回総会



令和 3 年 6 月 3 日 (木)

オンライン会議

(主会場：長野市「ホテル国際 21 千歳の間」)

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野県準備委員会 第 5 回総会 次第

日 時 : 令和 3 年 6 月 3 日 (木) 13:50~14:30

オンライン会議

(主会場:長野市 ホテル国際 21 千歳の間)

1 開 会

- 2 あいさつ 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会会長 長野県知事 阿部 守一

3 報告事項

- (1) 役員、委員等の変更
- (2) 第 6 回常任委員会における決定事項
- (3) 国民スポーツ大会の延期開催に関する規定化について

4 審議事項

- (1) 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告 (案)
- (2) 第 2 号議案 令和 2 年度収支決算 (案)
- (3) 第 3 号議案 令和 3 年度事業計画 (案)
- (4) 第 4 号議案 令和 3 年度収支予算 (案)
- (5) 第 5 号議案 令和 3 年度暫定収支予算 (会長専決処分)

5 閉 会

- アルクマへのマスコットキャラクターの任命
- 会場地市町村への国スポ旗及び全国障害者スポーツ大会旗の贈呈

報告事項

第5回総会 報告事項1

役員、委員等の変更

役員、委員等の変更については次のとおりであるので、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則第8条第3項の規定に基づき報告する。

(敬称略)

【 副会長 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
長野県議会議長	宮本 衡司	小池 清

【 常任委員 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
長野県市長会会長	牛越 徹	加藤 久雄
長野県議会副議長	清水 純子	小池 久長
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員長	高島 陽子	酒井 茂
長野県議会環境文教委員会委員長	中川 博司	小山 仁志
長野県市町村教育委員会連絡協議会会長	近藤 守	坂口 昌夫
長野県女性活躍推進監兼男女共同参画センター所長	-	高田 真由美
長野県信州ブランド推進監兼営業局長	-	熊谷 晃
長野県危機管理部長	中村 宏平	竹内 善彦
長野県総務部長	玉井 直	関 昇一郎
長野県県民文化部長	中坪 成海	増田 隆志
長野県健康福祉部長	福田 雄一	土屋 智則
長野県観光部長	渡辺 高秀	中村 正人
長野県農政部長	小林 安男	伊藤 洋人
長野県総合型クラブ連絡協議会会長	小崎 陽一郎	小林 京子
長野県小学校長会会長	志川 真一	清水 秀明
長野県中学校長会会長	山口 真一	北澤 嘉孝
長野県高等学校長会会長	塩野 英雄	今井 義明
長野県特別支援学校校長会会長	片桐 義章	岸田 優代
長野県中学校体育連盟会長	齊藤 博	竹村 昭浩
一般社団法人長野県経営者協会会長	碓井 稔	山浦 愛幸
長野県商工会連合会会長	間瀬 一朗	柏木 昭憲
公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会会長	堀内 和彦	下平 泰司

【 委員 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
長野県議会県民文化健康福祉委員会副委員長	竹花 美幸	熊谷 元尋
長野県議会環境文教委員会副委員長	竹内 正美	宮下 克彦
北相木村長	井出 利秋	井出 高明

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
下諏訪町長	宮坂 徹	青木 悟
南箕輪村長	藤城 栄文	唐木 一直
平谷村長	西川 清海	小池 正充
大鹿村長	熊谷 英俊	柳島 貞康
小布施町長	桜井 昌季	市村 良三
国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局長	神田 実	昆 一彦
長野県佐久地域振興局長	高橋 功	吉沢 久
長野県上田地域振興局長	永原 龍一	鈴木 英昭
長野県上伊那地域振興局長	竹村 浩一郎	佐藤 公俊
長野県木曾地域振興局長	神事 正實	中坪 成海
長野県北信地域振興局長	直江 崇	藤森 茂晴
長野体育学会会長	岩田 靖	内山 了治
長野県ボート協会会長	宮坂 徹	青木 悟
長野県テニス協会会長	三村 功	吉澤 之榮
長野県体操協会会長	中澤 隆一	立野 弘
長野県ソフトテニス連盟会長	山田 隆稔	本郷 一彦
長野県弓道連盟会長	松島 貞治	外薮 公毅
一般社団法人長野県ラグビーフットボール協会会長	佐々木 祥二	吉田 博美
長野県バウンドテニス協会会長	立岩 之博	後藤 秀作
長野県グラウンド・ゴルフ協会会長	間柄 順三郎	服田 高
株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ代表取締役社長	町田 善行	堀江 三定
一般財団法人長野県高等学校野球連盟会長	加藤 尚也	西條 浩章
学校法人松商学園松本大学学長	菅谷 昭	住吉 廣行
学校法人清泉女学院清泉女学院大学・短期大学学長	田村 俊輔	山内 宏太郎
学校法人長野家政学園長野女子短期大学学長	小林 健雄	小宮山 直道
アルピコ交通株式会社代表取締役社長	小林 史成	三澤 洋一
長野県高等学校PTA連合会会長	丸山 順平	西脇 睦博
社会福祉法人長野県聴覚障害者協会理事長	松原 武	井出 萬成
長野県公民館運営協議会会長	柏澤 由紀一	塩澤 哲夫
長野県高等学校文化連盟会長	石川 裕之	根橋 悦子

【 監事 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
長野県会計管理者兼会計局長	鈴木 英昭	小野 浩美
長野県町村会事務局長	原山 幸治	下里 啓介

【 顧問 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
参議院議員	羽田 次郎	羽田 雄一郎

【 参 与 】

機関・団体名及び役職	新任者	前任者
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	平野 成基	垣内 基良
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	宮下 克彦	丸山 栄一
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	小林 東一郎	大井 岳夫
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	諏訪 光昭	高島 陽子
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	両角 友成	加藤 康治
長野県議会県民文化健康福祉委員会委員	小林 君男	和田 明子
長野県議会環境文教委員会委員	石和 大	鈴木 清
長野県議会環境文教委員会委員	大畑 俊隆	山田 英喜
長野県議会環境文教委員会委員	望月 義寿	小林 東一郎
長野県議会環境文教委員会委員	加藤 康治	池田 清
長野県議会環境文教委員会委員	清水 正康	川上 信彦
読売新聞社長野支局長	渡辺 理雄	佐藤 淳
毎日新聞社長野支局長	田倉 直彦	佐藤 浩
産経新聞社長野支局長	原田 成樹	松本 浩史
共同通信社長野支局長	金子 大	池田 裕明

第6回常任委員会における決定事項

第6回常任委員会において次の事項を決定したことから、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則第12条第8項の規定により報告する。

	ページ
1 第6回常任委員会（令和3年6月3日 13:00～ オンライン会議）	
（1）第82回国民スポーツ大会 競技会場地市町村第5次選定	10
（2）第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想の策定について	17
（3）第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガンの制定について	19
（4）第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画の改正について	23

※ 決定事項は当日の審議状況によるため、資料は議案を添付していません。

第82回国民スポーツ大会 競技会場地市町村第5次選定（案）

（本大会）

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設
1	水泳	オープンウォータースイミング	男子・女子	信濃町	野尻湖特設会場

（留意事項）

- 開催予定施設は、今後中央競技団体視察の視察結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。
- 本県が開催予定の第82回大会の実施競技は、（公財）日本スポーツ協会において、令和3年度（2021年度）中に正式決定となる予定のため、実施競技（種目・種別を含む。）が変更になる可能性もある。

「競技会場地市町村」の選定について

1 第 82 回国民スポーツ大会「競技会場地市町村」の選定について

(1) 「本大会」の選定状況

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設	選定
1	陸上競技		全種別	松本市	松本平広域公園陸上競技場	1次 内定
2	水泳	競泳	全種別	長野市	長野運動公園総合運動場総合市民プール (アクアウイング)	
		飛込	全種別			
		水球	少年男子 女子			
		アーティスティックスイミング	少年女子			
		オープンウォータースイミング	男子 女子	信濃町	野尻湖特設会場	5次 内定
3	サッカー		成年女子	長野市	南長野運動公園総合球技場 (長野 U スタジアム) 長野運動公園総合運動場陸上競技場	2次 内定
			少年男子	松本市	松本平広域公園総合球技場 (サンプロアルウィン) 松本平広域公園芝生グラウンド 松本平広域公園球技場 松本市サッカー場	
			少年女子	大町市	大町市運動公園サッカー場 大町市運動公園陸上競技場	
4	テニス					調整中
5	ボート		全種別	下諏訪町	下諏訪ローイングパーク	1次 内定
6	ホッケー					調整中
7	ボクシング		成年男子 成年女子 少年男子	東御市	東御中央公園第一体育館	2次 内定
8	バレーボール	6人制	成年男子 成年女子	松本市	松本市総合体育館	
			少年男子	大町市	大町市運動公園総合体育館	
			少年女子	安曇野市	安曇野市総合体育館	
		ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	高森町	高森町ビーチバレーボール場(仮称)	3次 内定
9	体操	競技	全種別			調整中
		新体操	少年男子 少年女子	千曲市	更埴体育館(ことぶきアリーナ千曲)	4次 内定
		トランポリン	男子 女子	須坂市	須坂市北部体育館	
10	バスケットボール		全種別	長野市	真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング) 長野運動公園総合運動場総合体育館 南長野運動公園総合運動場体育館	1次 内定

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設	選定
11	レスリング		成年男子 少年男子 女子	小諸市	小諸市総合体育館	1次 内定
12	セーリング		全種別	諏訪市	諏訪市特設セーリング会場	
13	ウエイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	安曇野市	安曇野市三郷文化公園体育館	2次 内定
14	ハンドボール		全種別	千曲市	更埴体育館(ことぶきアリーナ千曲) 戸倉体育館 戸倉上山田中学校体育館	
			成年女子	東御市	東御中央公園第一体育館	
			少年男子	上田市	上田市自然運動公園総合体育館	
15	自転車	トラック・レース	成年男子 少年男子 女子	松本市	松本市美鈴湖自転車競技場	
		ロード・レース	成年男子 少年男子 女子	富士見町	富士見町特設自転車ロード・レース コース	
16	ソフトテニス		全種別	上田市	上田市新設テニスコート	1次 内定
17	卓球		全種別	岡谷市	岡谷市民総合体育館(スワンドーム)	
18	軟式野球		成年男子	松本市	松本市野球場 松本市四賀球場	2次 内定
				上田市	県営上田野球場	
				諏訪市	しんきん諏訪湖スタジアム	
				茅野市	茅野市運動公園野球場	
				佐久市	佐久総合運動公園野球場	
19	相撲		成年男子 少年男子	木曾町	木曾町民相撲場	1次 内定
20	馬術		全種別			調整中
21	フェンシング		全種別	箕輪町	箕輪町社会体育館	4次 内定
22	柔道		成年男子 少年男子 女子	佐久市	長野県立武道館	2次 内定
23	ソフトボール		全種別	伊那市	伊那スタジアム 伊那市営野球場 美すざスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 高遠スポーツ公園総合運動場	1次 内定
24	バドミントン		全種別	塩尻市	塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)	2次 内定
25	弓道		全種別	飯田市	県営飯田弓道場	1次 内定

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設	選定
26	ライフル 射撃	CP	成年男子			調整中
		50m、10m、AP	全種別			
		BR、BP	少年男子 少年女子			
27	剣道		全種別	中野市	中野市民体育館	2次 内定
28	ラグビーフットボール	15人制	少年男子	上田市	サニアパーク菅平	1次 内定
		7人制	成年男子 女子			
29	スポーツクライミング		全種別	大町市	大町市運動公園特設スポーツクライ ミング会場	3次 内定
30	カヌー	スプリント	全種別	飯山市	北竜湖特設カヌースプリント会場	
		スラローム	成年男子 成年女子	高森町	高森町新設カヌー競技場	
		ワイルドウォーター				
31	アーチェリー		全種別	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場	1次 内定
32	空手道		全種別	佐久市	長野県立武道館	2次 内定
33	銃剣道		成年男子 少年男子	塩尻市	塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)	
34	クレー射撃		成年	辰野町	長野県営総合射撃場	3次 内定
35	なぎなた		成年女子 少年女子	松本市	松本市総合体育館	2次 内定
36	ボウリング		全種別	長野市	ヤングファラオ	
37	ゴルフ		成年男子 少年男子 女子	軽井沢町	軽井沢72ゴルフ	3次 内定
38	トライアスロン		成年男子 成年女子			調整中
39	高校野球	硬式		長野市	南長野運動公園総合運動場野球場 (長野オリンピックスタジアム) 長野運動公園総合運動場県営野球場	1次 内定
		軟式		飯田市	綿半飯田野球場	2次 内定

	競技数	種目数	市町村数
第1次選定(H30.11.9)	14	18	11
第2次選定(R元.7.31)	16	18	15
第3次選定(R2.3.31)	5	5	5
第4次選定(R2.11.18)	2	3	3
第5次選定(R3.6.3)予定	1	1	1
調整中	6	8	—

注1) 複数種目からなる競技については、一部の種目における競技会場地市町村が選定された場合でも1競技としてカウントしている。

注2) 市町村数は、実数ではなく、選定ごとに該当する数を記載している。

(2) 「冬季大会」の選定状況

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設	選定
1	スキー	ジャイアントスラローム	全種別	飯山市	戸狩温泉スキー場	3次 内定
		スペシャルジャンプ	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ	
		コンバインド	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ 長峰クロスカントリースキーコース	
		クロスカントリー	全種別		長峰クロスカントリースキーコース	
2	スケート	スピードスケート	全種別	長野市	長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)	4次 内定
		フィギュアスケート	全種別		長野市若里多目的スポーツアリーナ(ビッグハット)	
		ショートトラック	全種別	南牧村	帝産アイススケートトレーニングセンター	
3	アイスホッケー		成年男子 少年男子	軽井沢町	軽井沢風越公園アイスアリーナ	調整中

(参考)

※ 第82回国民スポーツ大会は、開催年が令和9年(2027年)から令和10年(2028年)に1年延期となった。
(令和2年10月19日付け公益財団法人日本スポーツ協会会長(通知))

これにより、(公財)日本スポーツ協会における実施競技の決定時期についても、令和3年(2021年)3月末から令和3年度(2021年度)中に変更された。また、上記実施競技(種目・種別を含む。)が変更になる可能性がある。

2 第27回全国障害者スポーツ大会「競技会場地市町村」の選定について

No	区分	競技名	障害区分※2			市町村名	開催予定施設	選定
			身体障がい	知的障がい	精神障がい			
1	個人競技	陸上競技	○	○	—	松本市	松本平広域公園陸上競技場	1次 内定
2		水泳	○	○	—	長野市	長野運動公園総合運動場 総合市民プール	
3		アーチェリー	○	—	—	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場	
4		卓球	○	○	○	岡谷市	岡谷市民総合体育館	
5		フライングディスク	○	○	—			調整中
6		ボウリング	—	○	—	長野市	ヤングファラオ	1次 内定
7		ボッチャ	○※1 重度	—	—	千曲市	更埴体育館(ことぶきアリーナ千曲)	3次 内定
8	団体競技	バスケットボール	—	○	—	長野市	真島総合スポーツアリーナ 長野運動公園総合運動場総合体育館	1次 内定
9		車いすバスケットボール	○	—	—		南長野運動公園総合運動場体育館のいずれか	
10		ソフトボール	—	○	—	伊那市	伊那スタジアム 伊那市営球場	
11		グラウンドソフトボール	○	—	—		富士塚スポーツ公園運動場 美すずスポーツ公園運動場のいずれか	
12		フットベースボール	—	○	—			
13		バレーボール		○	—	—	安曇野市	安曇野市総合体育館
			—	○	—	松本市	松本市総合体育館	
			—	—	○	大町市	大町市運動公園総合体育館	
14	サッカー	—	○	—	松本市	松本平広域公園総合球技場(サンプロアルウィン) 松本平広域公園芝生グラウンド 松本平広域公園球技場 松本市サッカー場のいずれか		

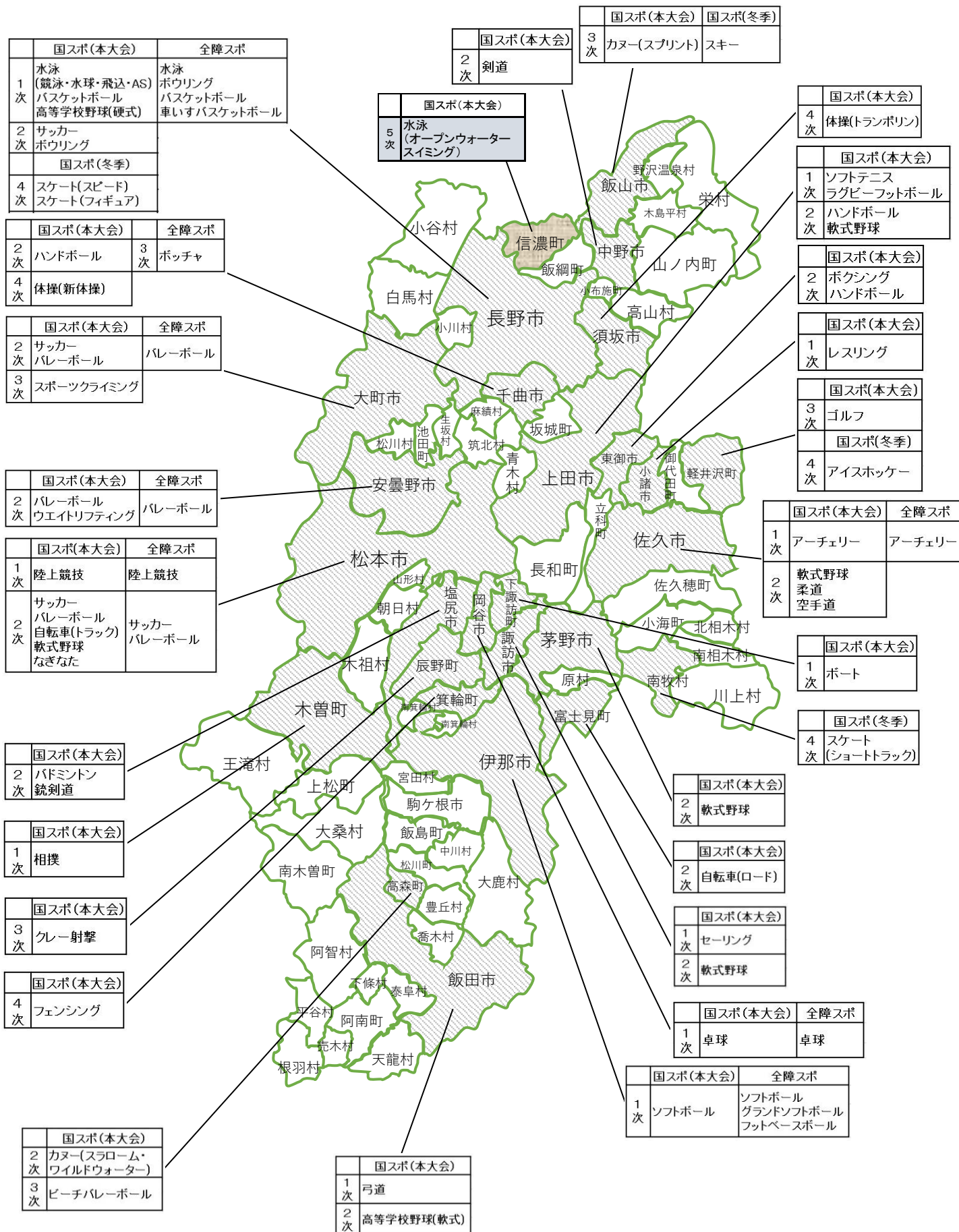
凡例) ○：競技あり、—：対象競技なし

※1 ボッチャは、令和3年(2021年)三重大会から実施予定

※2 身体障がいは身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳の、知的障がいは厚生事務次官通知による療育手帳の、精神障がいは精神保健法及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者

	競技数	市町村数
第1次選定 (R元. 7. 31)	個人5、団体5	5
第2次選定 (R2. 3. 31)	個人0、団体2	3
第3次選定 (R2. 11. 18)	個人1、団体0	1
調整中	個人1、団体0	—

- ・ 国スポ^ポ (本大会・冬季大会) 競技会場地市町村 (第1次選定～第5次選定) 34競技 / 27市町村
- ・ 全障スポ^ポ 競技会場地市町村 (第1次選定～第3次選定) 個人6競技・団体7競技 / 8市



第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
開催基本構想の策定について（案）

1 策定目的

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、大会の基本目標や主な取組の方向性を示すことにより、円滑に開催準備を進めるとともに、大会開催の気運の醸成を図る。

2 策定スケジュール（予定）

年月 (令和)	会 議 等	内 容	逆年	
3 年 度	5月	第7回総務企画専門委員会	開催基本構想の策定の審議	開 催 7 年 前
	6月	第6回常任委員会 第5回総会	開催基本構想の策定について (決定・報告)	
	9～ 12月	総務企画専門委員会意見 照会（書面）	開催基本構想構成案の調整	
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）		
	1～ 3月	第8回総務企画専門委員会	開催基本構想構成案の審議	
第7回常任委員会		開催基本構想構成案の報告		
4 年 度	4～ 6月	総務企画専門委員会意見 照会（書面）	開催基本構想原案の調整	6 年 前
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）		
	7～ 9月	第9回総務企画専門委員会	開催基本構想原案の審議	
		第8回常任委員会 第6回総会	開催基本構想原案の報告	
	10～ 12月	第10回総務企画専門委員会	開催基本構想（案）の調整・ 審議	
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係） パブリックコメントの実施		
1～ 3月	第11回総務企画専門委員会	開催基本構想（案）の審議		
	第9回常任委員会	開催基本構想の決定		
5 年 度	4～ 6月	第10回常任委員会 第7回総会	開催基本構想（印刷物）の報告	5 年 前

参考

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1 基本方針

第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会は、全ての県民の元気と力を結集して、夢、勇気、感動などスポーツの持つ限りない力と、本県の多彩な魅力を発信する大会として開催します。

大会の開催に当たっては、大会運営の簡素化・効率化を図るとともに、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造と、地域の魅力発信による経済の活性化等を通じて、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) “スポーツ”で長野県を元気にする大会

人生100年時代と言われる今、スポーツを健康に活かした取組を推進し、スポーツを通じた“健康長寿世界一の信州”の実現を目指すとともに、観光資源とスポーツ資源を融合させた地域活性化等にも取り組み、元気な長野県を推進する大会とします。

(2) “スポーツ”の振興を支える好循環を創出する大会

長野県の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次世代の選手を育成するなど、将来にわたり本県のスポーツ振興を支える好循環の形成に努めるとともに、子どもたちが夢や希望を未来へとつなぐことができる大会とします。

(3) “スポーツ”で共生社会づくりを加速する大会

障がい者の社会参加の推進と社会の障がい理解を促進するとともに、障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた交流を拡大するなど、誰にでも「居場所」と「出番」があり、多様性を尊重する共生社会づくりを力強く後押しする大会とします。

(4) “スポーツ”の環境づくりを推進する大会

少子高齢化社会を迎え、地域ごとに求められるスポーツ施設に対する需要が変化していく中であって、将来にわたり安全で、適正なスポーツ施設環境を提供するとともに、誰もが生涯を通じて気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進する大会とします。

(5) “スポーツ”が長野県のファンを増やす大会

豊かな自然環境、美しい景観など数々の長野県の誇れる魅力を県民一人ひとりが見つめ直し、県内外に発信するとともに、全国から訪れる数多くの来県者を温かいおもてなしの心で迎え、一人でも多くの方に長野県のファンとなっていただける大会とします。

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガンの制定について（案）


1 制定目的

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガンを制定し、大会開催の気運を高める。

2 制定方法概要

募 集	方 法	一般公募とする インターネット（ながの電子申請サービス）・FAX・郵便はがき・専用応募はがき
	期 間	50日間程度
	作 品	○ 愛称：親しみやすく呼びやすい、長野県らしさあふれる言葉で表現された、長野県の国スポ・全障スポの名前・呼び名。 「〇〇国スポ・全障スポ」「国スポ・全障スポ〇〇」などのように「国スポ・全障スポ」の文字を必ず入れる。 ※「全障スポ」の略称は、今後変更される可能性あり。 【前回「やまびこ国体」「やまびこ大会」】 ○ スローガン：大会の趣旨や大会に向けた思いを印象づける言葉・キャッチコピー。 【前回「日本の屋根に手をつなぐ」「さわやかに あたたかく ひたむきに」】
	賞・賞金	○ 愛称 最優秀賞 1作品（賞状・賞金5万円） 優秀賞 3作品（賞状、賞金1万円） ○ スローガン 最優秀賞 1作品（賞状・賞金5万円） 優秀賞 3作品（賞状・賞金1万円）
周 知	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ（応募はがき付） ・県広報番組（ラジオ）、市町村広報誌 ・インターネット（県HP）等 	
審 査	集 計	県準備委員会事務局で各200点程度選定
	1 次 （書面）	広報推進戦略部会員（6名）による投票により各50点程度選定
	2 次 （書面）	<ul style="list-style-type: none"> ・広報推進戦略部会員（6名）による順位づけにより各25点程度選定 ・広報・県民運動専門委員会委員（46名）による投票（書面）
	商標調査	類似商標調査
	3 次	専門委員の投票結果を参考に、広報推進戦略部会により各5作品を選定
	最終選定	広報・県民運動専門委員会で候補案を作成（事前投票）
	決 定	<p>県準備委員会常任委員会で決定</p> <p>※ 審査の公正を確保するため、決定までは公表しない</p>

3 制定スケジュール予定

令和3年度	常任委員会	広報・県民運動 専門委員会	広報推進戦略部会
4月			愛称・スローガンの制定について検討（オンライン会議）
5月		「第3回広報・県民運動専門委員会（5/19）」愛称・スローガンの制定について審議	
6月	「第6回常任委員会（6/3）」愛称・スローガンの制定について決定 「第5回総会」へ報告		
7月			
8月			
9月	公募開始（募集期間：50日程度）		
10月			
11月	応募締切、選定開始（事務局で集計 各200点程度）		
12月			部会員による第1次選定（書面審査） （各200点→各50点） 部会員による第2次選定（書面審査） （各50点→各25点）
1月		委員による投票（書面）	
	類似商標の調査（事務局）		
2月			部会員による第3次選定（各25点→各5点）
3月	「常任委員会」最優秀賞1点・優秀賞3点決定	「広報・県民運動専門委員会」 最優秀賞1点・優秀賞3点選定	
令和4年度	公募型プロポーザルによるロゴデザイン制作業務委託		
	「常任委員会」「総会」で授賞式・ロゴデザイン発表		

先催県における大会愛称・スローガンの制定状況

開催県	宮崎県	青森県	滋賀県	佐賀県
開催年※	2026年 (令和8年)	2025年 (令和7年)	2024年 (令和6年)	2023年 (令和5年)
選定方法	公募	公募	公募	公募
募集期間	令和元年8月12日 ～令和元年9月30日	平成30年12月10日 ～平成31年1月25日	平成30年9月20日 ～平成30年11月12日	平成30年9月15日 ～平成30年10月31日
	7年前	7年前	6年前	5年前
賞金等	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1セット 30万円 愛称・スローガンはセットで募集
愛称	日本のひなた宮崎国スポ・障スポ	青の煌めきあおもり国スポ	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ	 国スポ・全障スポ
応募総数	5,451	7,147	10,601	1,254
趣旨等	—	青い空、青い海や湖、青い山並など美しく自然に恵まれた青森県で、国スポに参加するすべての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。	選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わる全ての人々が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。	名称が国民スポーツ大会に変わり、佐賀大会がスポーツ大会としての初めての本大会になります。 名前が変わるだけでなく、大会をより良いものに変えていきたいと考え、「スポーツだからできること」にスポットを当てた『新しい大会』を目指していきます。
スローガン	紡ぐ感動 神話となれ	翔ける未来へ縄文の風に乗って	湖国の感動 未来へつなぐ	新しい大会へ。 すべての人に、スポーツのチカラを。
応募総数	5,287	7,079	10,209	—
趣旨等	—	縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。	「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わる全ての人々の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。	新しく生まれ変わるスポーツ大会をイメージし、シンプルかつ率直に伝わるような形にしました。

※1年延期が決定する前の開催年

開催県	鹿児島県	栃木県	三重県	茨城県
開催年※	2020年 (令和2年)	2022年 (令和4年)	2021年 (令和3年)	2019年 (令和元年)
選定方法	公募	公募	公募	公募
募集期間	平成26年12月22日 ～平成27年2月23日	平成28年8月17日 ～平成28年9月30日	平成27年4月18日 ～平成27年5月29日	平成25年9月2日 ～平成25年10月31日
	5年前	6年前	6年前	6年前
賞金等	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円
愛称	燃ゆる感動 かがしま国体 燃ゆる感動 かがしま大会	いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会	三重とこわか国体 三重とこわか大会	いきいき茨城ゆめ国体2019 いきいき茨城ゆめ大会2019
応募総数	13,495	23,851	14,771	13,008
趣旨等	世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。 熱く、燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。	「いちご」の生産量48年連続日本一の栃木県。 「いちご国体」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。	「とこわか(常若)とは、「いつまでも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現した言葉で、県民や来訪者が活力に満ち、元気になるようにとの願いを込めています。	選手やボランティアをはじめ、両大会に参加するすべての人々に、活気にあふれ、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典のすばらしさを感じていただきたい、という願いを込めています。
スローガン	熱い鼓動 風は南から	夢を感動へ。感動を未来へ。	ときめいて人 かがやいて未来	翔べ 羽ばたけ そして未来へ
応募総数	12,820	23,995	14,030	12,101
趣旨等	熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。	アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。 その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。	大会がきっかけとなってすべての人が夢と感動、喜びと感謝を味わい、大会後も元気な未来になるようにとの願いを込めています。	両大会に様々な形で参加することによって飛躍し、そして、未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という願いを込めています。

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画の改正について（案）

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画（第 3 回常任委員会決定、第 4 回総会改正）について、第 82 回国民スポーツ大会の開催年が令和 9 年から令和 10 年に変更になったこと等に伴い、所要の改正を行う。

1 改正の理由

- (1) 第 82 回国民スポーツ大会の開催年が令和 9 年から令和 10 年に変更となったことにより、養成の年次計画の見直しが必要となったため。
- (2) 公益財団法人日本スポーツ協会が定める国体開催基準要項の令和 2 年 10 月 15 日付け改定により、一部の競技において必要とされる競技役員数に変更され、養成目標数等の見直しが必要となったため。

2 改正の概要

養成目標数（別表 1）、養成年次計画（別表 2・3）を、大会開催年及び必要とされる競技役員数の変更を反映した見直し後のものに改める。

3 改正案

別紙のとおり

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会
審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第 82 回国民スポーツ大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

なお、第 27 回全国障害者スポーツ大会については、別途定めるものとする。

2 基本的事項

下記に基づいて第 82 回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準 [(公財)日本スポーツ協会]
- (2) 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針
- (3) 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針
- (4) 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 <別表 1 >

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。<別表 2・3 >

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時*1 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成*2 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	448	448	0	448	25	0	25	423	154	269	350
2	水泳	438	182	66	248	38	28	66	182	81	101	136
3	サッカー	387	82	0	82	32	20	52	30	25	5	7
4	テニス	148	144	4	148	0	0	0	148	3	145	191
5	ボート	120	45	10	55	18	16	34	21	15	6	9
6	ホッケー	79	25	30	55	20	0	20	35	0	35	46
7	ボクシング	87	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
8	バレーボール	476	252	0	252	7	16	23	229	106	123	162
9	体操	461	129	60	189	63	28	91	98	43	55	79
10	バスケットボール	313	90	0	90	25	23	48	42	25	17	23
11	レスリング	146	43	0	43	38	0	38	5	1	4	6
12	セーリング	220	28	76	104	31	57	88	16	2	14	21
13	ウエイトリフティング	123	36	5	41	2	12	14	27	17	10	14
14	ハンドボール	151	35	0	35	33	0	33	2	0	2	3
15	自転車	170	90	0	90	20	35	55	35	5	30	39
16	ソフトテニス	140	68	0	68	2	20	22	46	46	0	0
17	卓球	149	53	3	56	4	0	4	52	52	0	0
18	軟式野球	209	70	139	209	14	8	22	187	171	16	21
19	相撲	130	42	0	42	11	12	23	19	10	9	12
20	馬術	200	12	24	36	21	10	31	5	2	3	4
21	フェンシング	102	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
22	柔道	125	37	0	37	30	5	35	2	0	2	3
23	ソフトボール	320	129	51	180	10	16	26	154	62	92	121
24	バドミントン	295	264	1	265	0	0	0	265	137	128	169
25	弓道	148	30	0	30	0	20	20	10	10	0	0
26	ライフル射撃	154	18	136	154	31	108	139	15	0	15	20
27	剣道	112	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	115	48	0	48	10	13	23	25	10	15	20
29	スポーツクライミング	112	22	0	22	4	0	4	18	5	13	18
30	カヌー	235	81	54	135	30	0	30	105	7	98	128
31	アーチェリー	91	30	0	30	2	8	10	20	15	5	7
32	空手道	175	46	0	46	42	0	42	4	1	3	4
33	銃剣道	88	16	0	16	16	0	16	0	0	0	0
34	クレー射撃	101	12	0	12	12	0	12	0	0	0	0
35	なぎなた	112	21	0	21	19	0	19	2	1	1	2
36	ボウリング	127	26	6	32	2	0	2	30	13	17	23
37	ゴルフ	158	14	20	34	1	0	1	33	11	22	29
38	トライアスロン	111	111	20	131	4	62	66	65	38	27	37
39	高校野球	127	39	0	39	0	0	0	39	39	0	0
合	計	7,403	2,893	705	3,598	692	517	1,209	2,389	1,107	1,282	1,704

※1 開催時従事見込数：第82回国民スポーツ大会開催時に審判員・要資格運営員として活動できる県内有資格者数
 審判員の年齢的(定年制を含む)・体力的条件や審判員以外(選手・監督等)で国スポに参加する等の理由により、今後の審判員養成の対象外となるものを除く
 ※2 養成目標数：原則として、⑨不足数に1.3を乗じた数(1.3倍の安全率は途中で資格取得が困難になった場合の減少数を考慮して設定)

<別表2>

第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成(資格取得)年次計画								延養成数
		令和3 (2021) 7年前	令和4 (2022) 6年前	令和5 (2023) 5年前	令和6 (2024) 4年前	令和7 (2025) 3年前	令和8 (2026) 2年前	令和9 (2027) 1年前	令和10 (2028) 開催年	
1	陸上競技	50	50	50	50	50	50	50	0	350
2	水泳	35	35	31	30	29	26	14	8	208
3	サッカー	1	1	1	1	2	1	0	0	7
4	テニス	1	21	34	43	51	50	0	0	200
5	ボート	4	2	3	2	3	3	2	1	20
6	ホッケー	15	12	10	12	4	0	0	0	53
7	ボクシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	バレーボール	32	27	33	28	34	29	35	30	248
9	体操	26	31	35	33	26	19	11	0	181
10	バスケットボール	6	6	4	4	5	4	4	3	36
11	レスリング	0	3	1	2	2	1	1	0	10
12	セーリング	0	15	0	2	2	3	1	0	23
13	ウエイトリフティング	5	7	7	6	6	1	0	0	32
14	ハンドボール	3	0	0	0	0	0	0	0	3
15	自転車	5	5	5	5	5	5	5	4	39
16	ソフトテニス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	卓球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	軟式野球	3	3	3	3	3	3	3	0	21
19	相撲	2	1	1	2	2	2	2	0	12
20	馬術	0	0	2	0	0	2	0	0	4
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	3	0	0	0	0	0	0	0	3
23	ソフトボール	15	21	24	19	19	19	4	0	121
24	バドミントン	41	40	39	39	39	39	39	38	314
25	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	ライフル射撃	3	3	3	5	5	5	4	0	28
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	2	2	3	4	3	3	3	0	20
29	スポーツクライミング	0	2	2	2	7	4	3	0	20
30	カーヌー	0	0	0	0	0	50	50	28	128
31	アーチェリー	10	0	0	0	0	0	0	0	10
32	空手道	0	1	1	2	1	1	1	0	7
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	クレール射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	なぎなた	0	2	0	0	0	0	0	0	2
36	ボウリング	10	5	12	3	10	3	7	0	50
37	ゴルフ	1	6	5	6	5	6	4	0	33
38	トライアスロン	6	8	13	7	5	5	4	4	52
39	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	279	309	322	310	318	334	247	116	2,235

第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成(資格維持・資質向上)年次計画								計
		令和3 (2021) 7年前	令和4 (2022) 6年前	令和5 (2023) 5年前	令和6 (2024) 4年前	令和7 (2025) 3年前	令和8 (2026) 2年前	令和9 (2027) 1年前	令和10 (2028) 開催年	
1	陸上競技	154	204	254	304	354	404	454	504	2,632
2	水泳	80	98	117	133	150	171	196	209	1,154
3	サッカー	25	26	27	28	29	31	32	32	230
4	テニス	2	2	19	50	92	143	193	193	694
5	ボート	13	16	16	18	19	21	22	23	148
6	ホッケー	0	15	27	34	42	46	46	46	256
7	ボクシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	バレーボール	93	118	132	157	171	197	212	238	1,318
9	体操	29	38	49	66	84	98	111	122	597
10	バスケットボール	42	42	44	44	43	44	44	45	348
11	レスリング	3	1	3	4	4	6	6	7	34
12	セーリング	2	2	17	17	17	19	22	23	119
13	ウエイトリフティング	14	15	18	22	25	30	31	31	186
14	ハンドボール	0	3	3	3	3	3	3	3	21
15	自転車	5	10	15	20	25	30	35	40	180
16	ソフトテニス	46	46	46	46	46	46	46	46	368
17	卓球	52	52	52	52	52	52	52	52	416
18	軟式野球	189	189	189	189	189	189	189	192	1,515
19	相撲	10	12	13	14	16	18	20	22	125
20	馬術	2	2	2	4	4	4	6	6	30
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	0	3	3	3	3	3	3	3	21
23	ソフトボール	62	77	98	122	141	160	179	183	1,022
24	バドミントン	118	140	162	183	204	225	246	268	1,546
25	弓道	10	10	10	10	10	10	10	10	80
26	ライフル射撃	0	3	6	7	10	13	16	20	75
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	10	12	14	17	21	24	27	30	155
29	スポーツクライミング	5	5	7	9	10	16	20	23	95
30	カヌー	7	7	7	7	7	7	57	107	206
31	アーチェリー	12	22	22	22	22	22	22	22	166
32	空手道	2	2	3	3	4	4	4	5	27
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	クレール射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	なぎなた	3	1	3	3	3	3	3	3	22
36	ボウリング	8	18	15	27	23	33	29	36	189
37	ゴルフ	10	10	16	20	26	30	36	40	188
38	トライアスロン	36	40	44	54	60	64	68	71	437
39	高校野球	39	39	39	39	39	39	39	39	312
合	計	1,083	1,280	1,492	1,731	1,948	2,205	2,479	2,694	14,912

国民スポーツ大会の延期開催に関する規定化について

事務連絡

令和3年（2021年）1月22日

市町村スポーツ振興担当課長 様
 国スポ・全障スポ正式競技団体の代表者 様

長野県教育委員会事務局 国体準備室長

国民体育大会の延期開催に関する規定化について

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の本県開催にあたり、日ごろから御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、令和3年1月5日付けで公益財団法人日本スポーツ協会事務局長から別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

なお、同通知については、日本スポーツ協会のホームページにも掲載されていますので御参照ください。
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid1067.html>

記

【延期開催の規定化の概要】

- 国民体育大会の開催については、日本スポーツ協会が定める「要項」上、これまで中止の規定しかなかったが、延期の規定が新たに設けられた。
- 大会開催県が開催延期を希望する場合、延期となった大会の開催年は、開催地が決定している年又はこれに準ずる年*のうち、最も開催年が遅い年の翌年とする。

<令和3年以降の大会開催順序>

開催地が決定している年				内定している年		内々定している年		
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎	長野	群馬

*現時点では、令和7年と8年が「これに準ずる年」にあたる。

長野県教育委員会事務局国体準備室
 （室長）滝沢 裕之 （担当）一由 哲也、犬飼 琢生
 住 所 長野市大字南長野字幅下692の2
 電 話 026-232-0111（内線4476）
 026-235-7442（直通）
 ファクシミリ 026-235-7451
 電子メール kokutai@pref.nagano.lg.jp

審議事項

令和2年度事業報告（案）

1 開催準備業務

- (1) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画（第2次）の策定
- (2) 第82回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針の策定
- (3) 第82回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ実施基本方針の策定
- (4) 第82回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針の策定
- (5) 第82回国民スポーツ大会競技会場地市町村第4次選定
- (6) 第27回全国障害者スポーツ大会競技会場地市町村第3次選定
- (7) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則及び各種方針等の改正
（「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」への名称変更等）
- (8) その他開催準備業務の推進

2 会議の開催

(1) 総会

会議名	日時・場所	主な審議内容
第4回	令和2年12月18日 (書面協議)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告（案） ・ 令和元年度収支決算（案） ・ 令和2年度事業計画（案） ・ 平成2年度収支予算（案） ・ 平成2年度暫定収支予算（会長専決処分） ・ 準備委員会会則及び各種方針等の改正（案）

(2) 常任委員会

会議名	日時・場所	主な審議内容
第5回	令和2年11月18日 13:30～14:15 (オンライン会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催準備総合計画（第2次）（案） ・ 国スポ公開競技実施基本方針（案） ・ 国スポデモンストラーションスポーツ実施基本方針（案） ・ 国スポ競技用具整備基本方針（案） ・ 国スポ競技会場地市町村第4次選定（案） ・ 全障スポ競技会場地市町村第3次選定（案）

(3) 専門委員会

① 総務企画専門委員会

会議名	日時・場所	主な審議内容
第6回	令和2年11月4日 13:30~14:10 (オンライン会議)	<ul style="list-style-type: none">・開催準備総合計画(第2次)(案)・総務企画専門委員会の主な審議事項のスケジュールの変更(案)・国スポ競技会場地市町村第4次選定(案)・全障スポ競技会場地市町村第3次選定(案)

② 競技運営専門委員会

会議名	日時・場所	主な審議内容
第3回	令和2年7月20日 10:30~11:25 (ホテル信濃路)	<ul style="list-style-type: none">・国スポ公開競技実施基本方針(案)・国スポデモンストレーションスポーツ実施基本方針(案)・国スポ競技用具整備基本方針(案)

(4) 市町村・競技団体等担当国会議

会議名	日時・場所	主な審議内容
国スポ競技役員等養成に係る担当国会議	令和3年3月26日 14:00~15:00 (長野県スポーツ会館)	<ul style="list-style-type: none">・国スポ審判員・要資格運営員養成計画の見直しについて・国スポ競技役員等養成事業補助金について

3 各種調査の実施

主な調査	内容
市町村・競技団体ヒアリング	・会場地選定に係るヒアリング
先催県の開催準備状況に係る情報収集調査	・令和2年度開催県検討会議での意見交換及び情報交換

4 関係機関等との連絡調整の実施

相手方	内容
公益財団法人 日本スポーツ協会	・令和2年度国民体育大会委員会への出席

令和2年度収支決算（案）

収入決算額	2,829,526 円
支出決算額	2,829,526 円
差引残額	0 円

1 収入の部 (単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B-A)	備考
県負担金	3,795,000	2,829,512	△ 965,488	
諸収入	0	14	14	預金利息
合計	3,795,000	2,829,526	△ 965,474	

2 支出の部 (単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (B-A)	備考
事業費	1,487,000	1,034,297	△ 452,703	総会・常任委員会の会議開催経費等
事務局費	2,308,000	1,795,229	△ 512,771	事務局運営経費
合計	3,795,000	2,829,526	△ 965,474	

監 査 報 告

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則第 7 条第 4 項及び第 17 条第 2 項の規定に基づき、令和 2 年度収支決算に関する会計書類について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

令和 3 年 5 月 27 日

監 事 鈴 木 英 昭



令和 3 年 5 月 24 日

監 事 青 木 弘



令和 3 年 5 月 27 日

監 事 原 山 幸 治



第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会 会長 阿部 守一 様

令和3年度事業計画（案）

1 主な事業概要

- (1) 国民スポーツ大会（本大会及び冬季大会）・全国障害者スポーツ大会「競技会場
地市町村」の選定に関すること。
- (2) 開催基本構想の策定に関すること。
- (3) 愛称・スローガンの制定に関すること。
- (4) 競技役員等養成事業に関すること。
- (5) その他開催準備に関すること。

2 会議の開催

- (1) 総会
第5回総会
開催日：令和3年6月3日
- (2) 常任委員会
第6回常任委員会
開催日：令和3年6月3日
第7回常任委員会
必要に応じて開催
- (3) 専門委員会
 - ア 第7回総務企画専門委員会
開催日：令和3年5月28日
第8回総務企画専門委員会
必要に応じて開催
 - イ 第4回競技運営専門委員会
開催日：令和3年5月27日
第5回競技運営専門委員会
必要に応じて開催
 - ウ 第3回広報・県民運動専門委員会
開催日：令和3年5月19日
第4回広報・県民運動専門委員会
必要に応じて開催

3 その他

- (1) 先催県の開催準備状況に係る情報収集
- (2) 公益財団法人日本スポーツ協会及び関係機関・団体との連絡調整

令和3年度収支予算（案）

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会の令和3年度収支予算は、次のとおりとする。

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)	備 考
負 担 金	14,408	3,795	10,613	長野県負担金
合 計	14,408	3,795	10,613	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)	備 考
事 業 費	11,142	1,487	9,655	総会等開催経費、競技役員等養成補助金等
事務局費	3,266	2,308	958	事務局運営費
合 計	14,408	3,795	10,613	

令和3年度暫定収支予算（会長専決処分）

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則第14条第1項の規定により、次のとおり令和3年3月25日に専決処分をしたことから、同条第2項の規定により承認を求める。

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	摘 要
負 担 金	4,371	長野県負担金
合 計	4,371	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	摘 要
事 業 費	3,592	総会、常任委員会、専門委員会の開催経費、競技役員等育成補助金等
事務局費	779	事務局職員旅費、消耗品費等
合 計	4,371	